

2023 8

大画面に宿る情熱と鼓動

# 現代洋画家の 壁画

# 月刊 美術

No.575

Since 1975



バベットと遊ぶ 田村能里子

## 前田寛治大賞展

8月17日～21日 ●日本橋高島屋S.C.本館 6階美術画廊 ☎03(3211)4111

1920年代新写実主義を提唱し、革新的な作品を発表した前田寛治の名を冠した同賞は、現代における写実主義の新たな可能性を探ることを目的に、88年に第1回を開催。11回目を迎える今展では、大賞作品に加え、推薦委員によって選抜された約30作家の作品を展示。

石田淳一 うつつぶ 油彩、鉛筆、画布  
(第11回前田寛治大賞 大賞受賞)

## 萩焼 兼田知明 作陶展

8月3日～9日 ●京王百貨店新宿店 6階 京王ギャラリー ☎03(5321)5300

1976年山口県萩市生まれ。父は八代兼田佳炎。倉敷芸術科学大学大学院陶芸専攻修了。登り窯の窯変を表現した白萩、土味を活かした粉引。新たに手がける刀刻から黒彩の茶盤、水指、花器などの作品を展覧。



兼田知明 萩線刻手桶 花器

## 「現代美術の夜明け」斎藤義重・中西夏之・山口長男ほか

開催中～8月5日 ●明治神宮前・GALLERY SCENA ☎03(6805)0887

戦後まもない時代、現代美術の黎明期にいたアーティストたちの佳品約30点を展示。斎藤義重、中西夏之、山口長男、白髪一雄、李禹煥、吉原治良、菅木志雄、中川幸夫、赤瀬川源平、三木富雄、菅井汲ほか。



白髪一雄 作品

## 片桐聖子 絵画展

7月26日～8月1日 ●あべのハルカス近鉄本店 タワー館11階 美術画廊 ☎06(6624)1111

1967年神奈川県生まれ。92年東京藝術大学大学院視覚デザイン専攻修了(修了制作サロン・ド・プランタン賞受賞)。2011年文化庁新進芸術家海外研修制度研修生としてイタリア・ミラノ滞在(～12年)。独自のマチエールと色彩感覚で、花や静物、風景などを描き分ける。新作を中心に展覧。

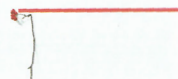


片桐聖子 薔薇 ミクストメディア

## 巴里を魅了する和の七人展

開催中～8月13日 ●銀座・ギャラリーためなが ☎03(3573)5368

同画廊パリ店では、2015年から若手日本人作家展「Nouvel Horizon Japon (日本の新たな時代展)」を定期的に開催し、日本でも紹介してきた。今年は大沢拓也、小津航、川上幸子、木下友梨香、木村佳代子、樋口新、山本大也の7作家の新作を含む約40点を展覧する。

山本大也 サンキライ色彩残像図  
油彩、鉛筆、顔料、ジェルメディウム

## 書業55周年 三宅相舟の今

7月20日～30日 ●銀座・セイコーハウス銀座ホール ☎03(3562)2111

1945年広島県生まれ。東洋大学名誉教授。毎日書道会監事。かな書において「やわらかな、和様の線ともいうべき、古きよき平安の時代の名筆の中に息づく品格に強く心惹かれます」と語る書家の流麗かつ力強い線質を、万葉集を題材としたものを中心に、額装や軸装、屏風など50余点で展覧。

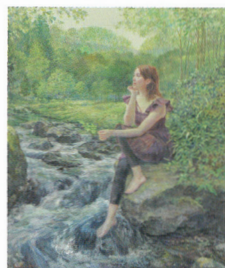


三宅相舟 大和三山をうたう 書

## 大友義博 油絵展 光の情景

7月19日～24日 ●日本橋三越本店 本館6階 美術特選画廊 ☎03(3241)3311

1965年熊本県生まれ。91年東京藝術大学大学院修了。細やかな取材と卓越した技量で描かれる作品には、目では捉えきれない空気感や光が広がる。同画廊5回目となる今展では、柔らかな表情をたたえる女性像のほか、馨しい花々を描いた作品など一堂に展覧。



大友義博 瀬音 油彩

## 中世の面影を映す水面 ブルー・ジュエント・デルフト 大城真人油絵展

7月20日～26日 ●東武池袋店 6階 美術画廊 ☎03(5951)5742

フランス在住の洋画家が、ベルギー・オランダの水辺の都ブルー・ジュエント、デルフトを取材。運河の辺りの中世そのままの古い家並みやゴシック、ルネッサンス、バロック様式の豪華なギルドハウスなど、美しい風景を展覧する。



大城真人 ゲントの夕暮れ 油彩